

きずな

2025 7 July

今号の題字

延岡市立浦城小学校 3年

谷口 芽衣さん



自然と地域に包まれた
小さな学び舎・浦城小

延岡市立浦城小学校(深田陽一郎校長・児童数3名)は、自然豊かな環境と147年の歴史をもつ小規模校です。学校園で育てた野菜を地域に販売したり、漁業・林業を体験したりするなど、地域とともに行う体験的な学びが充実しています。地域と協力して開催する「浦城スポーツフェスタ」やオープンスクールなど、子どもたちが地域の温かさを感じながら育つ行事も特色です。「浦城小で学べてよかった」と実感できる教育をめざし、職員・保護者・地域が一体となって子どもたちの成長を支えています。

【教頭 小島寿子】

CONTENTS

- ② 宮崎県PTA連合会定期総会
- ③ 宮崎県PTA連合会役員紹介
- ④⑤ 新旧会長対談
コラム「三輪車」
インフォメーション
- ⑥ トピックス「宮崎市立大宮小学校」
編集後記



宮崎県PTA連合会
ホームページ



編集・発行: 宮崎県PTA連合会

発行責任者: 二見 志信

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

<http://www.miyazakikenpta.com> E-mail: mken-pt@io.ocn.ne.jp

子どもを真ん中に、
共に学び、共に成長できる
PTA活動を推進しよう

～ 家庭・学校・地域との連携・協働をとおして ～

令和7年5月31日(土)宮崎観光ホテルにおいて、県内各地区の代表が出席し、宮崎県PTA連合会定期総会が開催されました。

令和6年度の事業報告・決算報告並びに監査報告、令和7年度基本方針案や事業計画案、予算案を協議し、すべての議案が承認されました。また、令和8年度に宮崎県で開催される「第71回日本PTA九州ブロック研究大会宮崎大会」の開催概要についても説明がありました。

役員改選では、二見志信新会長をはじめ12名の役員・理事等が承認され、新しいメンバーで令和7年度のスタートを切りました。森山前会長からバトンを受けた二見会長は「基本方針と6項目の活動目標を今年度も継続し、家庭・学校・地域の一体となって時代の変化に即応した活動を組織的に推進するとともに、あらゆる教育の課題に対して手を携えあつて乗り越えていきたい」と述べました。



基本方針

宮崎県PTA連合会は、保護者と教職員が一体となつて不偏不党、中立公正を旨とする社会教育関係団体として、すべての子どもたちが安心して家庭で、学校で、地域で生活することができる環境づくりに努めることを目的とする。

市郡PTA(連絡)協議会(単位PTA)との連携を図るとともに、行政や関係諸団体と協議・研究を行い、子どもたちの健全育成とPTA会員の資質の向上及び本県教育の振興を図りたい。

また、会員一人一人がPTAの一員であるという当事者意識をもち、会員相互の信頼と協力のもと、家庭・学校・地域が一体となって、時代の変化に即応した活動を組織的に推進するとともに、あらゆる教育の課題に対して手を携えあって乗り越えていきたい。

さらに、PTAの任意加入等に係る問題に関しては、様々な情報を基に、県PTA連合会役員会・理事会やリーダー研修会等において研修や協議を深めていきたい。

令和7年度 活動目標

- ① 家庭教育の推進
- ② 心の教育の推進
- ③ 子どもの健全育成活動の推進
- ④ 研修活動の推進
- ⑤ 家庭・学校及び地域社会等との連携・協力の推進
- ⑥ 広報活動の推進

令和7年度 理事・監査委員

理 事		教職員代表理事	
谷口 佑介	〈串間市〉	杉山 智子	〈小学校〉
山下 博之	〈えびの市〉	川越 章三	〈中学校〉
大田 美華	〈小林市〉		
長井のぞみ	〈北諸県郡〉		
元明 吉文	〈西諸県郡〉		
川崎 大輔	〈東諸県郡〉	山本 裕也	〈東諸県郡〉
齋藤 幸紀	〈西都市〉	阿萬 一皓	〈西都市〉
長尾 広則	〈児湯郡〉	木原 一	〈北諸県郡〉
甲斐 宣人	〈東臼杵郡〉		
橋本 寿	〈西臼杵郡〉		

令和7年度 感謝状贈呈者

森山 慎作	〈県P会長・宮崎市〉	山本 裕也	〈県P理事・東諸県郡〉
竹原 英智	〈県P副会長・串間市〉	阿萬 一皓	〈県P理事・西都市〉
黒木剣二郎	〈県P副会長・宮崎市〉	三輪 隆之	〈県P理事・児湯郡〉
友碓 将徳	〈県P副会長・延岡市〉	本田 貴規	〈県P理事・東臼杵郡〉
大門 哲也	〈県P理事・えびの市〉	佐藤 尊文	〈県P理事・西臼杵郡〉
吉藤 勇生	〈県P理事・小林市〉	岩切 靖代	〈教職員代表理事・小学校〉
木原 一	〈県P理事・北諸県郡〉	原田 昭彦	〈教職員代表理事・中学校〉
川平 典生	〈県P理事・西諸県郡〉		

令和7年度

宮崎県PTA連合会役員紹介



会長

二見 志信

(宮崎市PTA協議会)

この度、宮崎県PTA連合会会長を拝命しました。会員の皆様には日頃より宮崎県PTA連合会へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

PTAは保護者と教職員が共に子どもたちのために活動する社会教育関係団体です。時代の変化に即応した活動を組織的に推進するために、誰の何のための活動なのか改めて存在意義を考えると必要性を問われています。

子どもの成長発達は今も昔も変わりませんが、子どもを取り巻く環境は大きく変わりました。本来、家庭教育でしつけや愛着形成等、人としての土台ができますが、家庭だけで子どもを育てるのは難しい状況です。だからこそ、PTA活動の中で知り合いを増やして自分を支えてくれるコミュニティを作ることが大切だと思います。

すべての子どもたちが安心して家庭・学校・地域で健やかに育つ環境をつくれるよう、保護者と教職員、保護者同士が対話を重ねて信頼関係を築き、学び合い、お互いさまの気持ちをもって無理なく活動できるよう、自身もアップデイトしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

吉永 健一

(都城市PTA連絡協議会)

PTA活動は人間力を実践し育てる場と感じています。互いに支え合い学び合うことで子どもたちにとってもより良い環境をつくっていかれると信じています。

今年度は、第67回宮崎県PTA研究大会都城市・三股町大会が都城市で開催されます。たくさんの方の皆様に良かったと思っていただげる大会にしたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

葛西 了一

(日向市PTA協議会)

PTA活動を通じて生まれるつながりを大切に、家庭・学校・地域が支え合う関係を築くことを目指します。

交流を重ねることで互いの理解を深め、充実した取り組みを実現していきたいと思えます。



副会長

持原 将之

(宮崎市PTA協議会)

PTAを通して子どもたちが笑顔になれるよう、保護者や地域の皆様とつながり、自分自身も楽しんでいける活動をしたと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

甲斐 実沙希

(宮崎市PTA協議会)

宮崎県の子どもの笑顔のために、皆さんと力を合わせ、誰もが参加しやすいPTA活動や環境づくりを微力ながら支えていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

井上 英彦

(日南市PTA協議会)

子どもたちが学校に行くのが楽しいと思えるように、保護者や先生と協力し合い、穏やかに学べる学校を目指したいです。私自身もPTA活動を通して学び、多くの方との出逢いを大切にしながら、子どもたちと共に成長していきたいです。



副会長

小野 寿雄

(延岡市PTA連絡協議会)

子どもたちが安心して健やかに育っていけるよう、さまざまな声に耳を傾け、思いやりをもって取り組んでまいります。




宮崎県PTA連合会は

ケータイ・スマホ 夜9時
電源OFF運動

を推進しています。

子どもを守るネットモラル5か条

- ① 学校や家庭でのルールを守ろう
- ② メールやライン等で人の悪口や傷つくことは書かないようにしよう
- ③ 人の住所や電話番号等の個人情報は書かないようにしよう
- ④ ケータイ・スマホは、夜9時になったら電源を切ろう
- ⑤ 何かトラブルがあったらすぐに相談しよう

- 児童生徒のソーシャルメディアの利用は「保護者責任」と考えます。
- その利用に際し、宮崎県PTA連合会としての基本的な考えを示し、学校や関係機関と連携してネットモラル・メディアリテラシー教育を推進します。
- (児童生徒)
- インターネットは世界中の人が見えています。
 - 自分はもちろん、友達や知人の個人情報に関する書き込みはやめましょう。
 - 家族の名誉や人を傷つける行為は絶対にしてはいけません。
 - 利用しない、見ない、気にしないことも勇気だと知りましょう。
 - トラブルに巻き込まれたら、先生や保護者に相談しましょう。
- (保護者)
- 情報教育に関する保護者勉強会に参加しましょう。
 - インターネット接続機器における保護者の責任を認識しましょう。
 - 困ったときは、みんなで話し合いましょう。
 - 家庭内のルールを決めましょう。
 - 私たちが考える本場のコミュニケーションは、FACE to FACEです。
- 

ネットモラル・
メディアリテラシー 教育の推進

前会長 森山 慎作

新旧会長対談

新会長 二見 志信



県PTAの新体制がスタート。新旧会長にPTAに対する思いや考えなどをお聞きました。

「子育て10か条」について活用法や思いをお聞かせください

森山 令和5年度に県内の子どもたちからイラストを募って刷新しましたので、10か条と言っても教訓のような堅いイメージではなく、親しみをもって活用していただきたいですね。

二見 家庭教育を誰が伝えていくのが課題かなと感じています。保護者自身が受けてきた家庭教育がモデルケースになります。だからこそこれいいのかという葛藤や悩みが保護者の中に生まれるわけです。また、多様性を認め個性を尊重するあまりに保護者が孤立してしまう中で、子育ての基本に戻るためのものや参考にするものとしてはいいのかなと思います。

森山 10か条の中で私はシンプルな第2条の「早寝・早起き・朝ごはん」に共感します。勉強も大事ですが、その勉強も睡眠をしっかり取らなければ無駄になるかもしれない。規則正しい生活で健康な心と体をつくることはすべてにつながっていきますし、子育ての第一歩だと感じます。

二見 メディア安全指導員の私としては第9条ですね。親が見本となり、その親とルールも一緒に作ることは大事ですね。見守り活動もしているので第1条のあいさつにも強く共感しています。あいさつの声掛けで信頼が生まれることも多いですね。

今年度から活用されるという「PTAハンドブック」についてはいかがでしょうか？

森山 コロナ禍での活動の自粛や縮小が数年続いてしまい、PTAでいざ動くと思った時にどう動いていいかわからないことが多くなっていました。あらためて活動の主旨を理解するため活用してもらえたいと思います、会長等の役員さん向けに作ったものです。

二見 PTAは義務ではないし、成人教育の場でもあり、保護者同士がつながっている場でもあります。コロナ禍で関係性が希薄になり自分の周りが知らない人ばかりだと不安や恐怖を感じます。そんな今こそ人とつながり、学びや交流でつくられる信頼関係が大事なことです。日常のちょっとした困りごととは保護者同士のつながりがあれば解決できることも多いです。そういった思いもハンドブックには込められています。縛るためのものではなく活用してもらえると嬉しいですね。



宮崎県PTA連合会のHPから閲覧、ダウンロードができます。

コラム 三輪車

地域と共に未来を担う
『かつつん子』を育む

えびの市立加久藤小学校
教頭 三ヶ尻和弘



『かつつん子』
加久藤の子に期待や親しみを込めた愛称です。地域と『かつつん子』を繋ぐもの。それが加久藤で盛んな交流活動です。コロナ禍で中止していた交流活動を復活させたい思いはあれど、なかなかきっかけがありませんでした。そんな時、加久藤まちづくり協議会から「子どもたちに豊かな体験活動をさせたい」との申し出があり、これが復活のきっかけになりました。

協議会との「駒打ち体験」(4年生)では、クヌギや種駒を準備していただき、駒打ちを約一時間半しました。協議会の方々から「子どもたちが楽しく活動し、元気をもらった」と感想をいただきました。

また、夏季休業中に校区内の湧水公園で「魚釣り&つかみ取り大会」(全学年)をしました。協議会の協力の下、校区内の豊かな自然の中で、親子でふれあいがら楽しく活動する姿は、大変微笑ましいものでした。

加久藤まちづくり協議会との交流活動を皮切りにそれ以降、他の関係機関とも徐々に交流活動ができています。これからも、地域と共に未来を担う『かつつん子』を育んでいければよいと思います。

最近ではPTAが敬遠されている報道も目にしますが、私たちはどう捉えればよいのでしょうか？

二見 例えばベルマークを切りながら「最近どんげよ！」なんてお互いの愚痴を言いながらの近況報告がストレス発散になったりしますよね。すっきりして楽しかったと思うことができれば明日への活力にもなります。PTAってそんな「つながりの場」なんです。

森山 男性目線ですと活動の成果を求めがちで、そのための役割を効率よくこなすことを考えてしまっています。そんな中でもやはりお父さん同士のつながりは楽しいです。信頼も築けますよね。「あんたがやるなら俺もやるわ」という場面が多くあつて保護者同士がお互いにいろんな役を引き受けやすくなりますよね。

二見 PTAとご家庭がささやかでもどこかでつながっていたいです。わざわざ保護者同士でつながってほしいし、それはいつか何かがあった時に手助けをするきっかけになるかもしれないと思うんです。

——そういう考え方は各学校のPTA会長からトップダウンで伝わるといいのでしょうか？

二見 各学校の会長はトップではないうです。森山前会長が県PTAのリーダー研修会で皆さんにお伝えした「逆ピラミッド・逆三角形」の形、ここにあると思っています。会員の皆さんが主軸であつて、こちら（会長等の役職）は会員の皆さんから聞こえてくるご意見

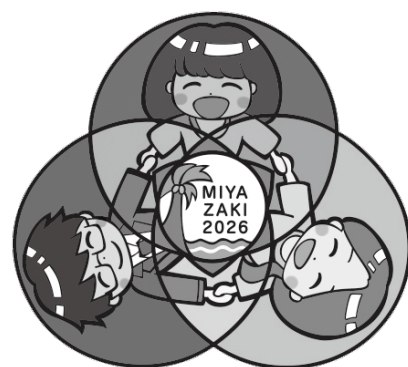
見をどう活用させるか、個（会員）では成しえないことをいかに団体（PTA）として県に、国に訴えていくか、その連携のために我々は存在すると考えています。個人で伝えきれない場面でもそ代弁できるのがPTAなんです。

——PTAは保護者の味方なんですね
令和8年に開催される第71回日本PTA九州ブロック研究大会宮崎大会（以下、宮崎大会）について一言お願いします

森山 来年の宮崎大会に向けて、ただ今絶賛準備中です。参加した方全員において意味のある大会にしたいです。宮崎ならではの点では「人と人とのつながりがテーマになるかと思っています」。

二見 PTAは会員の皆さんが主体です。そんな会員の皆さんが所属する学校のPTAを活動しやすくするのが市町村PTAであつて、その市町村PTAが良い教育や環境を一律に共有していくのが県PTAなのだと思います。PTAは、学校と子どもたちや家庭との橋渡しなんです。子どもを取り巻く環境である我々大人が動くべきです。保護者同士も勉強したり意見交換したりした方がいい。そのためにはPTAは活用できると思います。人と人、場と場をつなぐ、それがPTAです。そこも宮崎大会では伝えていきたいです。

森山 それぞれの学校のPTAというのは独立した組織です。それが市町村等の枠でつながっていて支えあっています。そこをご認識いただいてぜひ宮崎大会にも足を運んでいただけたらと思います。



第71回日本PTA九州ブロック研究大会
宮崎大会ロゴマーク

——「人とのつながりを作る場所がPTAであり、そこを通して人生の豊かさにつなげてもらいたい」と声をそろえて語る新旧会長のお二人。思いは一つです。
やわらかくて楽しい未来が広がっていくPTAのビジョンが見える対談でした。

第73回日本PTA全国研究大会

ISHI-KAWA
PTA 2025

石川大会

1日目（分科会） 令和7年8月22日（金） 石川県内8分科会

2日目（全体会） 令和7年8月23日（土） 石川県立音楽堂 コンサートホール サテライト会場7会場

第70回日本PTA九州ブロック研究大会



福岡市大会

1日目（分科会） 令和7年10月18日（土） 福岡市内4会場

2日目（全体会） 令和7年10月19日（日） マリンメッセ福岡A館

information

日本PTA全国協議会 定時総会

令和7年6月20日（金）

《協議内容》

・令和6年度事業報告

・令和6年度収支決算

・令和7年度理事及び監事の選任

・感謝状贈呈

九州ブロックPTA協議会 定期総会

令和7年6月13日（金）

《協議内容》

・令和6年度事業・決算・監査報告

・第69回九州ブロックPTA研究大会

・長崎大会決算報告

・令和7年度役員の選出

・令和7年度努力目標・事業計画・予算

宮崎県PTA連合会 定期総会

令和7年5月31日（土）

《協議内容》

・令和6年度事業報告

・令和6年度収支決算・監査報告

・令和7年度役員改選

・令和7年度基本方針・事業計画

・令和7年度収支予算

夢に向かって努力する 心身ともに健康で 人間性豊かな子どもたちの育成 地域・PTAと連携した大宮小学校の教育

【宮崎市立大宮小学校】（渡勝校長 児童数873名）

大宮小学校は宮崎市の中心部に位置する小学校で、児童数873名、PTA戸数655戸の大規模校です。学校北部には田園地帯が広がり、校区内に平和台公園や宮崎神宮等の史跡が見られ、地域との連携を大切にした教育活動を展開しています。

【大宮小学校の特色】

大宮小学校では、6年生が清掃活動や挨拶運動に取り組む朝のボランティア活動を行っています。これは伝統的に6年生に引き継がれており、活動する内容を子どもが主体的に選び、自主的に取り組んでいます。毎朝、学校の校門では「おはようございます」と元気のよいあいさつの声が聞こえています。

【地域との連携】

本校区内では各地区の見守り隊の方々が、日々子どもたちの登下校の安全を見守ってくださっています。先日行われた遠



見守り隊交流会の様子

各地区の見守り隊の皆様を学校にお招きして、子どもたちと交流します。登下校を見守ってくださる地域の方々に会って、子どもたちからは感謝の言葉が溢れます。



六月踊り練習の様子

毎年5年生が運動会で披露するために、地域の方から「六月踊り」を教わっていただき、繰り返し練習を行います。



読み聞かせボランティアの様子

「おおぎり祭り」における読み聞かせ活動の様子。普段は金曜日の朝に学級毎で行っています。



車いす体験の様子

「おおぎり祭り」における福祉体験ブースの様子。3年生では、総合的な学習の時間でも体験学習を行っています。

足では地域の見守り隊の方々が、子どもたちの歩く経路や交通量の多い交差点などに立って、事故やけがのないように優しい眼差しで子どもたちの様子を見守ってくださいます。

また、大宮小学校では、古くから伝わる「六月踊り」が有名です。毎年、5年生の総合的な学習の時間に地域のボランティアの方々のご協力をいただき、ふるさと学習として田植えや稲刈りの体験、恵みの雨を願う「六月踊り」と呼ばれる踊りなどを学んでいます。この「六月踊り」は小太鼓や鐘の音、唄に合わせ法被を着て踊ります。子どもたちはこの踊りを運動会で披露するため練習を繰り返し返します。地域の方々の丁寧な指導のおかげで、昨年度も子どもたちは自信をもって堂々と踊ることができました。

【活発なPTA活動】

本校はPTA活動が大変活発に行われ

ています。学級役員が企画する学級レクリエーションをはじめ、読み聞かせサークル

「ひまわり」による読書活動等、子どもたちが楽しみながら交流できる活動が盛んに行われます。特色のあるPTA行事として「おおぎり祭り」が挙げられます。昨年度の「おおぎり祭り」では、模擬店やバザー、スタンプラリーなどのブースの他、車いす体験や段ボールのイスづくりなど見識を深めることのできる内容も多く、参加した方々にとって意義のある行事となりました。

本年度も本校PTAは、人と人とのつながりを大事にした行事の計画・準備に尽力しています。これらの活動によって、子どもたちだけでなく保護者と地域を結び付け、笑顔あふれる安全・安心な大宮小学校を目指していきます。

【教頭 櫛間 亨・山口 耕】

編集後記

今年、久しぶりにイチゴを育ててみました。ようやく実ったのは2センチほどの小さなイチゴ。食物を育てることの難しさを実感します。いつも当たり前のように食べていますが、生産者のみなさんに感謝の気持ちを忘れずに生活したいとあらためて思いました。

田中

家族で阿蘇山に行ってきました。その日はガスのため規制がかかり火口まで行けませんでした。天気が良く阿蘇カルデラの雄大な景色を見ることができました。テレビなどで見てきた景色よりも圧巻で、阿蘇が大好きになりました。次こそは火口まで行ってみたいです。

西尾

「お薦めの本と好きな数字は？」と訊かれたら、今の私はこう返します。「PTAハンドブックと1010が条です。中でも、夢や未来を家族で語り合う第8条が気に入っています。『それなら、好きな数字は8では？』そんな声も聞こえてきそうです。一年間よろしくお願ひします。」

佐藤

最近の若者にとっては、距離のある敬語ではなく親しみを込めた「タメ語」が敬意の表れなんだそうです。敬語が使えないのかと思っていたけれど真実は違うようです。目から鱗でした。さすがやはり昭和人としては看過することもできず、隣と昭和の間で板挟みです。

西村

令和7年度 編集委員



編集長

西村 明子（宮崎西中）
田中 泰子（大塚中）
佐藤 健一（附属小）
西尾 真裕子（大宮中）